

定例記者会見資料



公立大学法人
島根県立大学

○日 時	平成26年3月14日(金) 13時30分～
○会 場	島根県立大学 本部棟2階 特別応接室
○会見者	本田雄一 理事長・学長
○会見項目	【3キャンパス共通】 ・公立大学法人島根県立大学と学校法人大多和学園との連携協力に関する協定締結について……………[資料1] ・平成26年度入学式の開催について……………[資料2] 【松江キャンパス】 ・島根県立大学短期大学部(松江キャンパス) しまね地域共生センターの設置について……………[資料3] ・平成26年度公開講座「椿の道アカデミー」について……………[資料4]
○資料提供項目	【3キャンパス共通】 ・平成25年度学生表彰「島根県立大学賞」の授与について……………[資料5]
○行事予定	・卒業式 【松江キャンパス】 ……………3月18日(火) 【浜田キャンパス】 ……………3月19日(水) ・大多和学園との協定調印式 【松江キャンパス】 ……………3月27日(木) ・入学式 【浜田キャンパス】 ……………4月3日(木) 【出雲キャンパス】 ……………4月4日(金) 【松江キャンパス】 ……………4月4日(金)

※会見及び資料提供に関する問い合わせは、資料に記載されている担当者あてにお願いします。
なお、行事予定の問い合わせは、以下のとおり、お願いします。

浜田キャンパス 総務課 TEL 0855-24-2200
出雲キャンパス 管理課 TEL 0853-20-0200
松江キャンパス 管理課 TEL 0852-26-5525

※次回の定例記者会見は 平成26年4月10日(木) 13:30から開催予定です。



マスコットキャラクター「オロリン」です。

公立大学法人島根県立大学と学校法人大多和学園 との連携協力に関する協定締結について

1. 協定内容……別紙参照

2. 予定している連携協力項目

平成26年度松江キャンパス

◎大学の各種講座への参加

H26 椿の道アカデミー「英語絵本の音読を楽しもう」(中学生以上)

(7/28・7/29・7/30・7/31・8/1)

◎大学教員による出張講義

大多和学園 SSH 研究発表テーマに関連した講義等

(参考) H25 「気候と美肌の関係性～美肌県グランプリに選ばれた理由とは?～」

◎大学による非常勤講師派遣

(参考) 大多和学園 SSH 事業「コミュニケーション・メソッド(国際的に通用するコミュニケーション能力の育成科目)の教育課程の開発」

◎大多和学園からの進学者による高校訪問・大学説明会

(参考) H25 松江キャンパス在学学生 9名

1年3名 2年6名

H21-25(5年間)入学生: 浜田キャンパス11名、出雲キャンパス8名

3. 経過及び今後の予定

- | | |
|-------|------------------------|
| 1月29日 | 大多和学園理事長等来学、協定(原案)意向確認 |
| 2月3日 | 大多和学園 協定(原案)了承 |
| 3月3日 | 理事会で了承 |
| 3月13日 | 大多和学園 協定了承 |
| 3月24日 | 経営委員会で報告(予定) |

3月27日11時 島根県立大学短期大学部松江キャンパスにおいて
連携協力に関する協定書調印式

- | | |
|------|------|
| 4月1日 | 協定発効 |
|------|------|



公立大学法人島根県立大学と学校法人大多和学園との連携協力に関する協定書

(目的)

第1条 この協定は、公立大学法人島根県立大学と学校法人大多和学園（以下「学園」という。）が連携し、生徒・学生の科学的思考と発表力の段階的育成を行い、もって創造性豊かな国際的に通用する人材の育成を図ることを目的とする。

(協力事項)

第2条 両者は、次の事項について協力する。

- (1) 学園の実施するスーパーサイエンスハイスクール事業（以下「SSH事業」という。）における連携
- (2) 教育についての情報交換及び交流
- (3) その他両者が協議して必要と認める連携

(協議)

第3条 この協定書の実施に関し、連携協力の細目等の具体的な実施については、両者が協議して定めるものとする。

(有効期間)

第4条 この協定の有効期間は、平成26年4月1日からSSH事業が終了する平成30年3月31日までとする。ただし、SSH事業の指定期間が延長された場合、その終了日までとする。

この協定の証として本書2通を作成し、各自1通保有する。

平成26年3月 日

公立大学法人島根県立大学
理事長

学校法人大多和学園
理事長

印

印

SUPER SCIENCE HIGH SCHOOL

文部科学省指定

2013~2014 スーパーサイエンスハイスクール



独立行政法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency

理数教育の最先端！

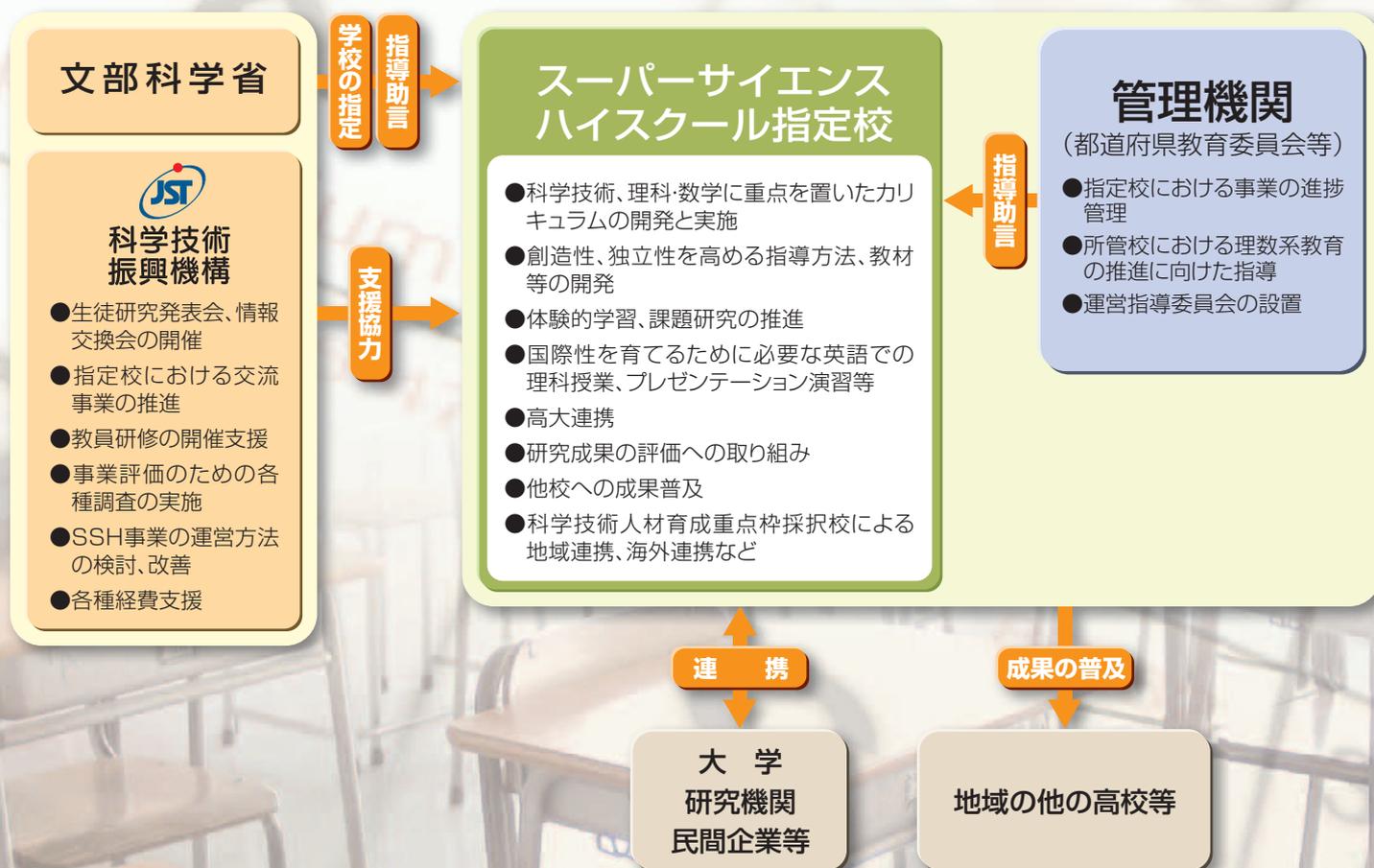
育て！未来の科学技術系人材。

文部科学省が指定する「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」は、未来を担う科学技術系人材を育てることをねらいとして、理数系教育の充実をはかる取り組みです。

SSHでは「科学への夢」「科学を楽しむ心」をはぐくみ、生徒の個性と能力を一層のばしていくことをめざしています。科学技術、理科・数学教育を重点的に行うSSHでは、平成14年度より大学や研究機関等とも連携して魅力的なカリキュラムを開発するなど、科学技術に夢と希望を持つ、創造性豊かな人材の育成に取り組んできました。また、SSH指定校を拠点校としての地域への成果の普及などを行っています。

平成17年度指定校からは指定期間を3年間から5年間に延長し、将来国際的に通用する人材を育成するための取り組みや高大接続の観点を新たに加え、研究開発を行っています。

科学技術振興機構（JST）は、SSH指定校へ物品購入、研修・講師費用等の支援、並びに発表会等の企画運営などを行い、SSHと密接に連携しその取り組みを積極的にサポートしています。



SSH 指定校

平成25年度スーパーサイエンスハイスクール指定校一覧 (201校)

学校名	指定年度	学校名	指定年度	学校名	指定年度
北海道室蘭米高等学校	21	埼玉県立川越高等学校*2	23	山梨県立甲府南高等学校*2	24
北海道旭川西高等学校*1	22	埼玉県立川越女子高等学校*2	23	山梨県立巨摩高等学校	24
北海道札幌啓成高等学校*1	22	埼玉県立熊谷高等学校	23	山梨県立韮崎高等学校	24
北海道釧路湖陵高等学校	24	埼玉県立不動岡高等学校	23	山梨県立日川高等学校	24
北海道札幌西高等学校	24	埼玉県立浦和第一女子高等学校*2	24	北杜市立甲陵高等学校	24
北海道札幌開成高等学校	24	埼玉県立熊谷女子高等学校	24	山梨英和学院 山梨英和中学校・高等学校	25
札幌日本大学学園 札幌日本大学高等学校	24	埼玉県立熊谷西高等学校	24	長野県飯山北高等学校	22
立命館慶祥高等学校	24	埼玉県立松山高等学校	24	長野県諏訪清陵高等学校*2	22
北海道岩見沢農業高等学校	25	千葉県立船橋高等学校*1	21	長野県屋代高等学校*2	23
北海道滝川高等学校	25	市川学園市川高等学校	21	岐阜県立恵那高等学校*2	24
青森県立三本木高等学校・附属中学校	22	千葉県立長生高等学校	22	岐阜県立岐阜農林高等学校	24
青森県立八戸北高等学校*1*2	22	千葉県立柏高等学校*2	23	静岡県立磐田南高等学校*2	23
岩手県立盛岡第三高等学校	23	千葉市立千葉高等学校*2	24	静岡県立清水東高等学校*2	24
岩手県立釜石高等学校	24	千葉県立佐倉高等学校	25	静岡理科大学 静岡北中学校・高等学校*1*2	24
岩手県立水沢高等学校*2	24	東京都立戸山高等学校*2*3	19	静岡県立浜松工業高等学校	25
宮城県仙台第三高等学校*1	22	東京工業大学附属科学技術高等学校*2	22	静岡市立高等学校	25
宮城県仙台第一高等学校	24	東京都立小石川中等教育学校*2	23	名古屋大学教育学部附属中・高等学校*2	23
宮城県古川黎明中学校・高等学校	24	早稲田大学高等学院*2	23	愛知県立刈谷高等学校	23
秋田県立横手清陵学院中学校・高等学校	22	筑波大学附属駒場高等学校*2	24	愛知県立明和高等学校	23
秋田県立秋田中央高等学校	25	東京学芸大学附属高等学校	24	名城大学附属高等学校*2	23
秋田県立秋田北鷹高等学校	25	東京都立科学技術高等学校*2	24	愛知県立岡崎高等学校*1*2	24
秋田県立大館鳳鳴高等学校*2	25	東京都立多摩科学技術高等学校	24	愛知県立豊田西高等学校	25
山形県立鶴岡南高等学校	24	東京都立日比谷高等学校*2	24	愛知県立半田高等学校	25
山形県立米沢興譲館高等学校*2	24	東海大学付属高輪台高等学校*2	24	愛知県立一宮高等学校*1*2	25
福島県立会津学鳳高等学校・中学校	22	文京学園 文京学院女子女子高等学校*1	24	愛知県立時習館高等学校*1*2	25
福島県立磐城高等学校	23	玉川学園高等部・中学部*2	25	三重県立伊勢高等学校	24
福島県立福島高等学校*1*2	24	神奈川県立神奈川総合産業高等学校	21	三重県立津高等学校*2	25
茨城県立水戸第二高等学校*2	23	横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校*1	22	滋賀県立膳所高等学校*1*2	23
茗溪学園中学校高等学校*1	23	神奈川県立西湘高等学校*2	25	滋賀県立虎姫高等学校	24
茨城県立並木中等教育学校	24	神奈川県立厚木高等学校	25	滋賀県立彦根東高等学校*1*2	24
茨城県立日立第一高等学校・附属中学校*2	24	新潟県立新発田高等学校	25	立命館守山高等学校*2	24
清真学園高等学校・中学校*2	24	新潟県立高田高等学校	25	京都教育大学附属高等学校*2	22
茨城県立緑岡高等学校	25	新潟県立柏崎高等学校*2	25	京都府立桃山高等学校	22
作新学院高等学校	23	新潟県立長岡高等学校*2	25	京都市立堀川高等学校*1*2	22
栃木県立足利高等学校	24	新潟県立新潟南高等学校*2	25	立命館高等学校*1*2	22
栃木県立栃木高等学校	24	石川県立金沢泉丘高等学校*2	23	京都府立嵯峨野高等学校*1	24
白鷲大学足利高等学校	25	石川県立小松高等学校*2	23	京都府立洛北高等学校・洛北高等学校附属中学校*2	24
栃木県立宇都宮女子高等学校*2	25	石川県立七尾高等学校*2	24	京都府立桂高等学校	25
佐野日本大学高等学校*2	25	福井県立藤島高等学校*1*2	21	大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎*1	21
群馬県立桐生高等学校*2	24	福井県立若狭高等学校	23	大阪府立三国丘高等学校	21
群馬県立前橋女子高等学校	25	福井県立高志高等学校*2	25	大阪府立生野高等学校	22
埼玉県立春日部高等学校	22	福井県立武生高等学校*1*2	25	大阪府立千里高等学校	22
早稲田大学本庄高等学校*1*2	22	山梨県立都留高等学校*2	22	大阪府立豊中高等学校	22

*1) コア SSH / 科学技術人材育成重点校

*2) 指定終了後、再度指定された学校

*3) 経過措置1・2年の指定を受けた学校

※ 既に指定を終了した学校 (31校) : 北海道帯広柏葉高等学校、北海道札幌北高等学校、宮城県宮城第一高等学校、福島県安積高等学校、福島県立相馬高等学校、茨城県立竹園高等学校、栃木県立宇都宮高等学校、群馬県立高崎女子高等学校、群馬県立高崎高等学校、埼玉県立大宮高等学校、芝浦工業大学柏中学高等学校、神奈川県立柏陽高等学校、慶應義塾高等学校、富山県立富山高等学校、富山県立高岡高等学校、岐阜県立岐山高等学校、名古屋市立向陽高等学校、三重県立津西高等学校、三重県立四日市高等学校、三重県立松阪高等学校、大阪府立北野高等学校、兵庫県立大学附属高等学校、和歌山県立桐蔭高等学校、鳥取県立鳥取東高等学校、島根県立松江東高等学校、山口県立岩国高等学校、山口県立山口高等学校、香川県立三本松高等学校、福岡県立修猷館高等学校、長崎県立諫早高等学校、沖縄県立開邦高等学校

学校名	指定年度
大阪府立岸和田高等学校	23
大阪市立東高等学校	23
大阪府立園芸高等学校	24
大阪府立四條畷高等学校	24
大阪府立住吉高等学校*2	24
大阪府立泉北高等学校*1*2	24
大阪府立天王寺高等学校*1*2	24
大阪市立都島工業高等学校	25
大阪府立大手前高等学校*1*2	25
大阪府立高津高等学校*1*2	25
兵庫県立三田祥雲館高等学校	21
兵庫県立明石北高等学校	22
兵庫県立尼崎小田高等学校*2	22
神戸市立六甲アイランド高等学校	23
兵庫県立加古川東高等学校*2	24
兵庫県立豊岡高等学校*2	24
武庫川学院 武庫川女子大学附属中学校・高等学校*2	24
兵庫県立龍野高等学校	25
兵庫県立神戸高等学校*1*2	25
奈良女子大学附属中等教育学校*1*2	22
奈良県立青翔高等学校	23
奈良県立奈良高等学校*1*2	24
奈良学園高等学校	24
西大和学園中学校・高等学校*2	24
和歌山県立向陽高等学校・中学校*2	23
和歌山県立海南高等学校*2	24
和歌山県立日高高等学校・附属中学校*2	24
島根県立益田高等学校*1*2	24
島根県立出雲高等学校	25
大多和学園 開星中学校・高等学校	25
岡山県立岡山一宮高等学校*2	21
岡山県立倉敷天城高等学校*2	22
金光学園中学高等学校	23
ノートルダム清心学園 清心女子高等学校*2	23
岡山県立玉島高等学校*2	24
岡山県立津山高等学校	24
加計学園 岡山理科大学附属高等学校	24
広島県立広島国泰寺高等学校*1*2	22
広島大学附属高等学校*1*2	24
広島県立西条農業高等学校	24
安田学園 安田女子中学高等学校	24
山口県立徳山高等学校	22
山口県立宇部高等学校*2	24
徳島県立脇町高等学校	22
徳島県立徳島科学技術高等学校	25
徳島県立城南高等学校*2	25
高松第一高等学校	22
香川県立観音寺第一高等学校	23
愛媛県立松山南高等学校*2	22

学校名	指定年度
愛媛県立宇和島東高等学校	25
高知県立高知小津高等学校*2	24
明治学園中学高等学校*3	20
福岡県立小倉高等学校*1*2	22
福岡県立城南高等学校*1	22
福岡県立香住丘高等学校	23
福岡県立嘉穂高等学校	23
福岡県立八幡高等学校	23
福岡県立鞍手高等学校	24
福岡県立明善高等学校	24
福岡県立東筑高等学校	25
佐賀県立致遠館高等学校・佐賀県立致遠館中学校*2	23
長崎県立長崎西高等学校*1*2	22
長崎県立長崎南高等学校	25
熊本県立熊本北高等学校	23
熊本県立第二高等学校*2	23
熊本県立宇土中学校・宇土高等学校	25
大分県立大分舞鶴高等学校*1*2	22
大分県立日田高等学校	23
宮崎県立宮崎北高等学校*2	24
鹿児島県立錦江湾高等学校*1*2	22
池田学園 池田中学・高等学校*2	24
沖縄県立球陽高等学校	25

SSH ホームページ

JST ではスーパーサイエンスハイスクール支援事業の情報の発信を目的としたホームページを運用しています。ぜひご覧ください!!

課題研究データベースでは、SSH 校生徒による課題研究結果が閲覧可能。各校での課題研究の取り組みに活用できます!

研究開発実施報告書では、各校の取り組みが詳細にわかります!

生徒研究発表会資料では、発表要旨を全て掲載。その全容を知ることができます!

<https://ssh.jst.go.jp/>



平成 26 年 3 月 14 日
島根県立大学(浜田キャンパス)
総務課 山口・黒崎
TEL 0855-24-2200

島根県立大学 総合政策学部入学式・大学院入学式について

平成 26 年度の総合政策学部入学式及び大学院入学式を下記のとおり挙行いたしますのでお知らせいたします。

記

日 時 平成 26 年 4 月 3 日(木) 11:00～12:00 (新入生入場 10:30 まで)

場 所 島根県立大学浜田キャンパス 講堂 (浜田市野原町 2433-2)

- 式次第
- (1) 開式の辞
 - (2) 総合政策学部入学許可宣言
大学院入学許可宣言
 - (3) 入学生宣誓
 - (4) 学長式辞
 - (5) 知事祝辞
 - (6) 来賓祝辞
 - (7) 大学歌斉唱
 - (8) 閉式の辞

その他

- ・当日午前 10 時から関係資料を講堂受付にて配布します。

島根県立大学 看護学部入学式・短期大学部専攻科入学式について

平成 26 年度の看護学部入学式及び短期大学部専攻科入学式を下記のとおり挙行いたしますのでお知らせいたします。

記

日 時 平成 26 年 4 月 4 日(金) 10:00～11:00（新入生入場 9:45 まで）

場 所 島根県立大学出雲キャンパス 体育館（出雲市西林木町 151）

- 式次第
- (1) 開式の辞
 - (2) 看護学部看護学科入学許可宣言
短期大学部専攻科入学許可宣言
 - (3) 入学生宣誓
 - (4) 学長式辞
 - (5) 知事祝辞
 - (6) 来賓祝辞
 - (7) 大学歌斉唱
 - (8) 閉式の辞

その他

- ・当日午前 9 時から関係資料を体育館受付にて配布します。



平成 26 年 3 月 14 日
島根県立大学短期大学部
(松江キャンパス)
管理課 上代・石倉
TEL 0852-26-5525

島根県立大学短期大学部松江キャンパス 入学式について

平成 26 年度の島根県立大学短期大学部松江キャンパス入学式を下記のとおり挙
行いたしますのでお知らせします。

記

日 時 平成 26 年 4 月 4 日(金) 13:30~14:30 (新入生入場 13:10 まで)

場 所 島根県民会館 中ホール (松江市殿町 158)

- 式次第
- (1) 開式の辞
 - (2) 入学許可宣言
 - (3) 入学生宣誓
 - (4) 学長式辞
 - (5) 来賓祝辞
 - (6) 来賓紹介
 - (7) 閉式の辞



島根県立大学短期大学部（松江キャンパス）
しまね地域共生センターの設置について

1. 設置理由について

しまね地域共生センター（以下「センター」という。）は、公立大学法人島根県立大学第2期中期計画で目指す地域志向の位置づけに合わせて、「健康・保育・文化・観光」の専門分野を活かした活動を目的として、以下の理由により設置する。

- ①文部科学省「地（知）の拠点整備事業（CENTER OF COMMUNITY 事業）」の推進
- ②大学の「地域志向」教育研究機能のさらなる向上
- ③地域貢献窓口の一元化（ワンストップサービス）

※事業概要は別添参照

2. 組織について

開設時期は、平成 26 年 4 月 1 日とする。

センターにセンター長及び必要な職員を置く。

センター事務室は、松江キャンパス 2 号館 3 階に置く。

3. 今後の日程について

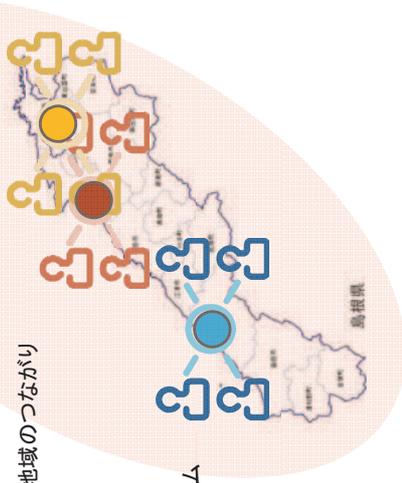
平成 26 年 4 月 1 日 開設

平成 26 年 5 月 14 日 しまね地域共生センターオープニング記念講演会

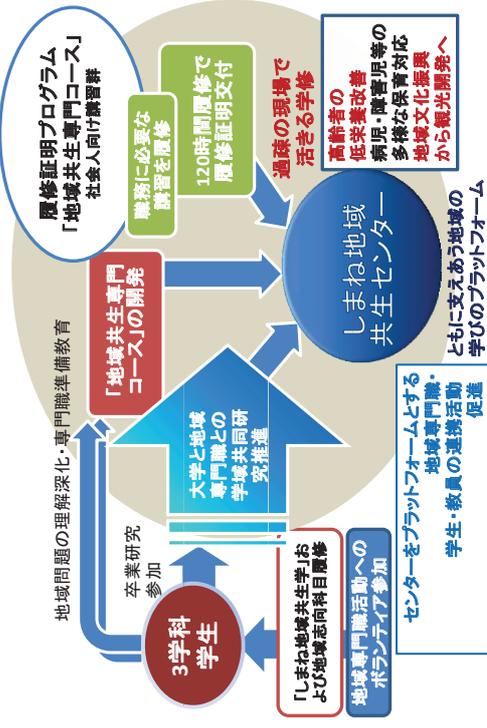
- ・開 式 13時30分から
- ・会 場 松江キャンパス大講義室
- ・記念講演 東京大学教授 玄田有史氏（松江市出身）
演題 「希望のしまね、しまねの希望」
- ・鼎 談 玄田有史氏
本学 本田雄一学長 小泉凡教授を予定

島根県立大学 CENTER OF COMMUNITY 事業の開始

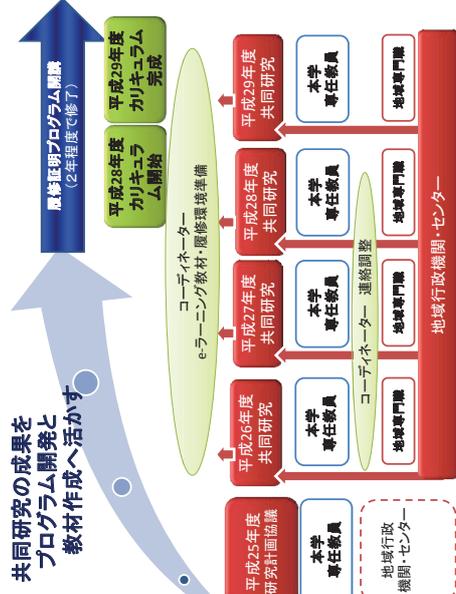
- 3キャンパスを拠点とする地域のつながり
キャンパス・プラットフォーム
- 島根県全域をつなぐ
縁結びプラットフォーム
- COC²-NETの構築
3キャンパス講義中継システム
遠隔授業システム
e-ラーニングシステム



松江C. キャンパスプラットフォーム による教育・研究・社会貢献の改革



キャンパスプラットフォームにおける 共同研究の推進



地域専門職との連携による共同研究研修	共同研究研修分野の内容 (共同研究→現場で活かす「履修証明プログラム」へ)	求められる人材
① 管理栄養士	低栄養高齢者の栄養改善指導のための研究研修	個別相談者として支援できる職能
① 栄養教諭・管理栄養士・栄養士	各地域の年齢別食育・地産地消のための研究研修	地域基盤・人材ネットワークの構築力
① 保育士・幼稚園教諭・小学校教諭・特別支援学校教諭	各地域の医療体制・教育体制にあわせた病児・障害児保育と相談支援体制の研究研修	地域の業材(シーズ)を知り開発できる人材
① 保育士・指導員(放課後児童クラブ等)	地域全体で子どもを育てるための多様な地域支援体制の研究研修	
① 図書館司書・学校司書・同書教諭	地域で支える生涯学習・教育基盤の研究研修	
① 郷土研究者・NPO法人・市民団体	地域文化資源の掘り起こしと研究研修	
① NPO法人・企業	豊かな自然・歴史や文化を活用した観光開発の研究研修	
① 企業・団体	特色ある地域特産品・食品開発の研究研修	

2014年3月14日
島根県立大学短期大学部
松江キャンパス管理課
担当者：上代・藤原
電話：0852-26-5525

2014年度島根県立大学短期大学部松江キャンパス 公開講座「椿の道アカデミー」について

1. 目的

島根県立大学短期大学部松江キャンパスでは、地域の皆様の豊かな生涯学習の場として今年度も公開講座を開催いたします。

2. 期間

平成26年5月17日～平成27年2月16日まで
(詳細は別紙パンフレットを参照)

3. 会場

島根県立大学短期大学部松江キャンパス (松江市浜乃木7丁目24-2)

4. 主催者

島根県立大学短期大学部松江キャンパス

5. 内容・募集定員等

別紙パンフレットをご参照ください。

6. 申込方法・料金

パンフレット裏面の申込書を大学へ郵送してください。申込期間は、平成26年4月1日(火)から4月25日(金)です。受講料は無料ですが、「椿の道アカデミー会員」としての登録料2,000円が必要です。

7. 「椿の道アカデミー」とは、大学図書館の利用や、公開授業への参加など、松江キャンパスをより身近な存在として感じて頂くための会員制度です。公開講座は新しく開講する講座を含め14講座をご用意しております。中でも、「松江ゴーストツアー」は、毎回参加要望の多いフィールドトリップ講座「文化資源探求講座」に、今回追加企画した講座です。NPO 法人松江ツーリズム協会と連携し、小泉八雲が採集・再話した怪談の語りを堪能する夜の文化探訪ツアーを行います。

椿の道アカデミー

CAMELLIA ROAD

「椿の道アカデミー」では、さまざまな世代やライフスタイルに合わせ、幅広い時間帯と多彩な講座をご用意しております。どうぞふるってお申込みくださいますよう、ご案内申し上げます。

	講座名	開講日	会場
平日 昼	1 総合文化講座：「文化をつむぐ」 ▶水曜日 14:00～15:20 (9/18は木曜日)	6/25 7/23 7/30 8/6 8/27 9/10 9/18 10/8 10/15 10/29 11/12	体育館研修室
	2 源氏物語を読む—恋に殉じた青年の話(続編)— ▶第1～第3水曜日 13:30～15:00	6/4 6/11 6/18 7/2 7/9 7/16	体育館研修室
	3 風土記の語る神話—出雲国風土記を中心に— ▶金曜日 15:00～17:00	6/27 7/25 8/29 9/19 9/26	体育館研修室
	4 椿の道読書会【まっえ市民大学連携講座】 ▶月曜日 14:00～16:00	5/19 6/16 7/28 9/8 10/20 11/17 12/15 2/16	図書館 (グループ閲覧室)
	5 子どもがいる家庭のための 英語教育実践講座 ▶金曜日 10:00～11:30	6/6 6/13 6/20	第2視聴覚室
	6 英語絵本の音読を楽しもう ▶月曜日～金曜日 10:40～12:10	7/28 7/29 7/30 7/31 8/1	図書館 (グループ閲覧室)
	7 ～続～子育て・孫育て世代の ための子ども理解講座 ▶火曜日 14:00～15:30	10/14 10/21 10/28	図書館 (グループ閲覧室)
平日 夜	8 健康栄養講座：高齢者の食と健康 【まっえ市民大学連携講座】 ▶火曜日 19:00～20:30 (9/16は18:00～20:30)	8/19 8/26 9/2 9/9 9/16	臨床栄養実習室 調理実習室
	9 栄養士のためのステップアップ講座 【通常講義】第2・第4水曜日19:00～21:00 (8月は第1・第4水曜日) 【集中講義】8・9月の土日 10:30～16:15	【通常講義】7/9 7/23 8/6 8/27 9/10 9/24 10/8 10/22 11/12 11/26 12/10 12/24 【集中講義】8/2 8/3 9/6 9/7	臨床栄養実習室
土曜 日	10 山陰民俗学会連携講座～山陰の フィールドから考える～Part 2 ▶13:00～15:00 【まっえ市民大学連携講座】	7/19 7/26 8/9 8/30	体育館研修室
	11 民族音楽の楽しみ：ガムラン教室 ▶14:00～16:00 【まっえ市民大学連携講座】	5/17 5/31 6/7 6/21 7/5 7/19 8/2 8/30 9/20 10/4 11/1 11/15	秋奥ガムラン音楽堂(八雲町) (5/17・8/30は体育館研修室)
	12 子どもの困った行動に対処する養護・保育のスキル アップ講座：コモンセンス・ペアレンディング ▶14:00～16:00	8/2 8/9 8/23 8/30 9/6 9/13 9/20	視聴覚室
	13 案外知っているようで知らない「人」の話 ▶13:30～15:00	5/17 5/24 5/31	視聴覚室
バス ツアー	14 文化資源探求講座① 「松江ゴーストツアー」	8/8(金) 16:00～21:20	城山稲荷神社他
	文化資源探求講座② 「出雲の弥生遺跡を歩く」	10/13(月・祝) 9:30～17:30	西谷墳墓群他

平日昼の部

1 総合文化講座：「文化をつむぐ」〈全11回〉

- 開講日／①6/25 ②7/23 ③7/30 ④8/6 ⑤8/27 ⑥9/10 ⑦9/18
⑧10/8 ⑨10/15 ⑩10/29 ⑪11/12
- 曜日／水曜日（9/18のみ木曜日） ●時間／14:00～15:20
- 場所／体育館研修室 ●定員／100名
- 講師／総合文化学科教員・出雲キャンパス教員・浜田キャンパス教員

プログラム

- | | | |
|--------|--|-----------------------|
| ①6/25 | 出雲大社と近代観光 | 工藤 泰子（総合文化学科准教授） |
| ②7/23 | 文化を紡ぐ・育む心—九鬼周造『「いき」の構造』を中心に | 村井 洋（浜田キャンパス教授） |
| ③7/30 | 大人も楽しめる絵本 | 岩田 英作（総合文化学科教授） |
| ④8/6 | 最近のテレビ・ドラマ制作の傾向
～「あまちゃん（'13NHK）」「半沢直樹（'13TBS）」とその後～ | 瓜生 忠久（浜田キャンパス教授） |
| ⑤8/27 | フィクションの効用 | 高橋 純（総合文化学科教授） |
| ⑥9/10 | インテリアファブリックスの魅力 | 藤居 由香（総合文化学科准教授） |
| ⑦9/18 | 英語ミステリー作品の翻訳から学ぶ「ことばと文化」 | 田中 芳文（出雲キャンパス教授） |
| ⑧10/8 | インドネシアの家と人々の暮らし | 塩谷 もも（総合文化学科准教授） |
| ⑨10/15 | 伊勢物語を読む—或る男の一代記？— | 村上 桃子（総合文化学科講師） |
| ⑩10/29 | 現代ギリシャとラフカディオ・ハーン—没後110年記念事業を終えて— | 小泉 凡（総合文化学科教授） |
| ⑪11/12 | 日本とロシアにおけるハンセン病意識の比較 | シローコフ・ワジム（浜田キャンパス准教授） |

2 源氏物語を読む—恋に殉じた青年の話《続編》—〈全6回〉

源氏物語の楽しみは「原文」に接することから始まります。どんな名訳・現代語訳も作者の撰んだ表現には及ばない。女三宮を思い切れない柏木の一途さも、可愛がってくれた「ひかる叔父さん」への裏切りに押潰されていく痛ましさも、原文を通してこそ切々と迫ってきます。「若菜」巻は、人生の「あやにくさ」が集約された『源氏物語』の白眉です。初めての方も御一緒に是非どうぞ。

- 開講日／①6/4 ②6/11 ③6/18 ④7/2 ⑤7/9 ⑥7/16
- 曜日／水曜日
- 時間／13:30～15:00
- 場所／体育館研修室
- 定員／100名
- 講師／三保サト子（本学名誉教授）
- テキスト／新潮日本古典集成『源氏物語 五』（若菜・柏木巻、3,465円〈※価格変更の可能性あり〉）を初回講座の開始前に販売します。購入を希望される方は申込書に記入してください。原文を収める各社文庫本等も可。

3 風土記の語る神話—出雲国風土記を中心に—〈全5回〉

風土記撰進令（713年）が出されてから1300年になります。そこで、今年度は、出雲国風土記を中心とした風土記の語る神話の魅力を楽しんでいただきたいと思います。

- 開講日／①6/27 ②7/25 ③8/29 ④9/19 ⑤9/26
- 曜日／金曜日
- 時間／15:00～17:00
- 会場／体育館研修室
- 定員／100名
- 講師／藤岡 大拙（本学元学長・名誉教授）
- テキスト／報光社『出雲国風土記』加藤義成校注（1,262円＋税）を初回講座の開始前に販売します。購入を希望される方は申込書に記入してください。

プログラム

- ①6/27 国引き神話・宍道郷神話など（出雲国風土記）
- ②7/25 三沢郷神話・恋山神話など（出雲国風土記）
- ③8/29 大穴持命の妻問い神話（出雲国風土記）
- ④9/19 播磨国における出雲の神々（播磨国風土記）
- ⑤9/26 蘇民将来・浦嶋子・湯泉神話など（風土記逸文）

4 椿の道読書会〈全8回〉

「まつえ市民大学連携講座」

松江キャンパスで実施する読書会です。様々なジャンルから本を選び、毎回1冊の本についてその本の感想や意見を語り合います。他の人の感想や意見を聞くことで本をより深く読み取ったり、異なる視点や考え方で読みの世界を広げることが出来ると思います。また、普段自分では、読まないジャンルの本にも触れる良い機会になるのではないのでしょうか。

- 開講日／① 5/19 ② 6/16 ③ 7/28 ④ 9/8 ⑤10/20 ⑥11/17 ⑦12/15
⑧2/16
- 曜 日／月曜日
- 時 間／14:00～16:00
- 会 場／図書館グループ閲覧室
- 定 員／15名
- 講 師／北井 由香（本学図書館主任司書）
- 課題図書は、話し合って決定します。

5 子どもがいる家庭のための英語教育実践講座〈全3回〉

この講座では、幼児～小学生がいる家庭でできる英語教育について学びます。子どもはどうやって言語を習得するのでしょうか。そのしくみを理解し、子どもの言語能力を効果的にアップする方法を探ります。おすすめの英語教材やDVD・絵本・ゲームを紹介し、お子さんに話しかける育児英語を学びます。なお、講座は日本語で行います。

- 開講日／① 6/6 ② 6/13 ③ 6/20
- 曜 日／金曜日
- 時 間／10:00～11:30
- 会 場／第2視聴覚室
- 定 員／10名
- 講 師／ラング・クリス（総合文化学科講師）
- 対 象／主に幼児～小学生がいる家庭の保育者、英語教育に興味がある方など。

6 英語絵本の音読を楽しもう〈全5回〉

英語の絵本や多読用図書（レベル別の読み物で、やさしい本からスタートします）と一緒に音読して楽しみましょう。読み聞かせにも挑戦します。英語初習者向け講座ですが、文法の説明や英語の日本語訳などはしません。絵本やストーリーを楽しみながら、海外の文化にも少々触れられますし、英語の基礎力アップにもつながるでしょう。

- 開講日／①7/28 ②7/29 ③7/30 ④7/31 ⑤8/1
- 曜 日／月曜日～金曜日
- 時 間／10:40～12:10
- 会 場／図書館グループ閲覧室
- 定 員／10名程度
- 講 師／小玉 容子（総合文化学科教授）、ダスティン・キッド（総合文化学科講師）
- 対 象／中学生以上

7 ～続～子育て・孫育て世代のための子ども理解講座〈全3回〉

子どもの社会を読み解く視点を通じて、子どもと日々かかわる方が子ども理解をいっそう深めることをお手伝いする講座です。受講者の関心に応じて様々な年齢層の子どもについての話題を設定しますので、お子さん・お孫さんをお持ちの方、保育者としてお勤めの方、子どもに興味のある方など、どなたでも受講できます。昨年度に受講された方も、初めて受講される方も、どうぞご参加ください。

- 開講日／①10/14 ②10/21 ③10/28
- 曜日／火曜日
- 時間／14:00～15:30
- 会場／図書館グループ閲覧室
- 定員／15名程度
- 講師／矢島 毅昌（保育学科講師）

プログラム

- ①10/14 「家族」からの子ども理解
- ②10/21 「教育」からの子ども理解
- ③10/28 「社会現象」からの子ども理解

平日夜の部

8 健康栄養講座：高齢者の食と健康〈全5回〉

「まつえ市民大学連携講座」

島根県は、全国に先駆けて高齢化が進んでおり、健康で明るく生きがいをもって生活できる社会の実現を、積極的に図っていくことが必要です。この講座では、島根県の高齢者の健康について、現状と取り組みを紹介し、身体の変化に対応した食および健康づくりについてお話しします。

- 開講日／①8/19 ②8/26 ③9/2 ④9/9 ⑤9/16
- 曜日／火曜日
- 時間／19:00～20:30（9/16調理実習時のみ18:00～20:30）
- 会場／臨床栄養実習室および調理実習室
- 定員／20名
- 講師／健康栄養学科教員
- 9/16には調理実習を行いますので、エプロンと三角巾、マスクをご持参ください。なお、材料費として、500円の実費徴収をいたします。

プログラム

- | | | |
|--------|-------------------------------|--|
| ① 8/19 | 高齢者の健康について—現状と課題— | 名和田清子（健康栄養学科教授） |
| ② 8/26 | 高齢者の身体と特徴
生活習慣病と上手に付き合うために | 直良 博之（健康栄養学科教授）
安藤 彰朗（健康栄養学科教授） |
| ③ 9/2 | 高齢化に対応した地産地消の取り組み1—西条柿— | 赤浦 和之（健康栄養学科教授） |
| ④ 9/9 | 高齢化に対応した地産地消の取り組み2—しまね和牛— | 籠橋有紀子（健康栄養学科准教授） |
| ⑤ 9/16 | 島根県の食材を使った調理実習—食形態の展開— | 坂根千津恵（健康栄養学科助教）
水 珠子（健康栄養学科助教）
川谷真由美（健康栄養学科助手） |

9 栄養士のためのステップアップ講座〈通常講義12回・集中講義4回〉

管理栄養士免許取得を目指し国家試験を受験する方々のために、試験対策を行う講座です。試験科目のうち「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」「食べ物と健康」「基礎栄養学」「応用栄養学」「栄養教育論」「臨床栄養学」「給食経営管理論」を重点的にサポートします。

【通常講義】 ●開講日／①7/9 ②7/23 ③8/6 ④8/27 ⑤9/10 ⑥9/24 ⑦10/8
⑧10/22 ⑨11/12 ⑩11/26 ⑪12/10 ⑫12/24 【全12回】

●曜 日／第2・第4水曜日（8月は第1・第4水曜日）

●時 間／19:00～21:00

【集中講義】 ●開講日／①8/2 ②8/3 ③9/6 ④9/7 【全4回】

●曜 日／8～9月の土日

●時 間／10:30～16:15（90分講義×3回）

●会 場／臨床栄養実習室

●定 員／40名

●講 師／健康栄養学科教員

●対 象／本学卒業生・島根県内の栄養士の方

土曜日の部

10 山陰民俗学会連携講座～山陰のフィールドから考える～Part 2

〈全4回〉 [まつえ市民大学連携講座]

昨年に引き続き、山陰という具体的なフィールドの中から、世相や暮らし、民俗行事、祭礼など、各回テーマを変えて、民俗の変容と今後を考えます。

- 開講日／①7/19 ②7/26 ③8/9 ④8/30
- 曜日／土曜日
- 会場／体育館研修室
- 講師／山陰民俗学会員
- 時間／13:00～15:00
- 定員／100名

プログラム

- ①7/19 現代に残る江戸時代初期のわらべ歌 酒井 董美 (山陰民俗学会会長)
- ②7/26 年中行事・祭りの変化と継承—その②— 品川 知彦 (鳥根県立古代出雲歴史博物館学芸情報課長)
- ③8/9 民俗芸能伝承と学校教育②—石東地域における石見神楽の伝承活動を中心に— 多田 房明 (美郷町立大和小学校校長)
- ④8/30 鳥取県からみた民俗芸能の変化と継承 原島 知子 (鳥取県教育委員会事務局文化財課文化財主事)

11 民族音楽の楽しみ：ガムラン教室 〈全12回〉

[まつえ市民大学連携講座]

この講座は、民族音楽を鑑賞するだけでなく、インドネシアの民族楽器であるガムランを実際に演奏してみようという初心者向けの教室です。やさしい楽器から難しい楽器まで様々ですが、みんなで息を合わせて曲に仕上げていく楽しみがあります。民族音楽になじみのない方も気軽にご参加ください。

- 開講日／①5/17 ②5/31 ③6/7 ④6/21 ⑤7/5 ⑥7/19 ⑦8/2 ⑧8/30
⑨9/20 ⑩10/4 ⑪11/1 ⑫11/15
- 曜日／土曜日
- 時間／14:00～16:00
- 会場／秋奥ガムラン音楽堂 (松江市八雲町西岩坂2236)
(5/17・8/30は本学体育館研修室)
- 定員／25名程度
- 講師／瀬古 康雄 (本学元教授)
- 現地集合が原則ですが、希望者には送迎もあります。

12 子どもの困った行動に対処する養護・保育のスキルアップ講座： コモンセンス・ペアレンディング（神戸少年の町版）〈全7回〉

米国の児童福祉施設であるボーイスタウンで開発された、養育者向けの子育て支援プログラムです。行動分析学を基礎理論として、社会的に望ましい行動を増やし、望ましくない行動を減らすためのしつけのスキルを教えるものです。日本では、神戸少年の町（児童養護施設）に導入され、全国的に普及しています。

本来は、子育てに困難を抱える保護者を対象とするプログラムですが、保育所・幼稚園（3歳児クラス以上）、児童養護施設、児童相談所保護所などで、子どもの生活支援を行う職員に対する養育スキルアップのための、現任者教育用のツールとしても有効です。特に、若く経験の浅い職員に有効と考えられます。

- 開講日／①8/2 ②8/9 ③8/23 ④8/30 ⑤9/6 ⑥9/13 ⑦9/20
- 曜日／土曜日
- 会場／視聴覚室
- 講師／藤原 映久（保育学科講師）
- 対象／現に養護・保育の仕事に専門的に従事する者（保育所、児童福祉施設、児童相談所、里親等で3歳児以上の幼児・学齢児の養護・保育を行っている者）
- テキスト／明石書店『野口啓示・のぐちふみこ（2012）むずかしい子を育てるコモンセンス・ペアレンディング・ワークブック』（1,890円）を使います。
- 時間／14:00～16:00
- 定員／20名程度

プログラム

- ①8/2 わかりやすいコミュニケーション
- ②8/9 良い結果・悪い結果
- ③8/23 効果的な誉め方
- ④8/30 予防的教育法
- ⑤9/6 問題行動を正す教育法
- ⑥9/13 自分自身をコントロールする教育法
- ⑦9/20 フォローアップ

13 案外知っているようで知らない「人」の話 〈全3回〉

心理学のことをやさしく解説する入門編。今を生きている「人」と「自分」の日常行動を考えます。講座では、心理学の応用編として、食と人間心理の話もします。

- 開講日／①5/17 ②5/24 ③5/31
- 曜日／土曜日
- 会場／視聴覚室
- 講師／飯塚 由美（保育学科准教授）
- 時間／13:30～15:00
- 定員／20名程度

プログラム

心理学入門編

- ① 5/17 「しんりがく」の世界って？—どんなことやってるの—
- ② 5/24 まずは自分を知ろう
- ③ 5/31 人との関わりはどうなってるの？ 身近なことと心理学

バスツアー

14 文化資源探求講座

① 松江ゴーストツアー

小泉八雲が採集・再話した怪談の語りを堪能する夜の文化探訪ツアーです。移動にはバスを利用します。講演と郷土料理もあわせてお楽しみいただきます。訪問先は城山稻荷神社・月照寺・大雄寺などです。NPO法人松江ツーリズム研究会との連携で実施します。

- 開講日／8/8（金）
- 時 間／16:00～21:20（15:50集合▶場所：「蓬莱吉日庵」〈松江市殿町101番地 TEL:0852-28-1358〉
21:20頃解散▶場所：松江城）
- 講 師／小泉 凡（総合文化学科教授）・松江ゴーストツアー語り部
- 定 員／25名（※申込多数の場合、この講座については抽選とします。）
- 参加費／5,000円（入館料・夕食費を含む）を当日徴収させていただきます。

② 出雲の弥生遺跡を歩く

出雲の弥生時代の遺跡群を中心とした、文化資源探訪のバスツアーです。西谷墳墓群（四隅突出型墳墓）・出雲弥生の森博物館・荒神谷遺跡・万九千神社・加茂岩倉遺跡などを巡る予定です。

- 開講日／10/13（月・祝）
- 時 間／9:30～17:30
（9:15集合▶場所：体育館研修室前 17:30頃解散▶場所：正面玄関前）
- 講 師／岡部 康幸（NPO法人出雲学研究所会員・元山陰中央新報社論説委員）
小泉 凡（総合文化学科教授）
- 定 員／50名（※申込多数の場合、この講座については抽選とします。）
- 参加費／2,500円（入館料・昼食費を含む）を当日徴収させていただきます。

お申込み方法

申込書に必要事項を記入し、下記へ郵送してください。
受付期間終了後、「受講決定通知書」と「会員登録の手引き」をお送りします。

※受講には「椿の道アカデミー」の会員登録が必要です。

※会員登録料2,000円（大学生以下は無料）です。お一人様何講座でも受講できます。

※申込多数により各講座の定員が超過した場合は、原則先着順とさせていただきますので、ご了承ください（一部の講座は抽選）。

※講座会場は変更になる場合があります。管理棟玄関の掲示板「本日の公開講座」でご確認ください。

- 受付期間 平成26年4月1日(火)～4月25日(金)〈当日消印有効〉
- 宛先 〒690-0044 松江市浜乃木7-24-2
島根県立大学短期大学部松江キャンパス 公開講座 係
- お問合せ TEL 0852-26-5525 (代表) (土日祝除く)

松江キャンパスへのアクセス



- JR松江駅より 車……約15分
バス…1番のりば南循環外回り「県立短大前」下車、徒歩1分
- JR乃木駅より 車……約5分
- 山陰自動車道 松江中央ランプ・松江西ランプより車で2～3分



切り取り



2014年度 椿の道アカデミー公開講座 申込書

フリガナ				男 ・ 女	
氏 名				年齢	歳
住 所	〒				
電話番号			FAX番号		
メールアドレス					

受講希望講座(○をご記入ください)

1	総合文化講座：「文化をつむぐ」		9	栄養士のためのステップアップ講座	
2	源氏物語を読む（テキスト購入希望 あり・なし）		10	山陰民俗学会連携講座	
3	風土記の語る神話（テキスト購入希望 あり・なし）		11	民族音楽の楽しみ：ガムラン教室	
4	椿の道読書会		12	子どもの困った行動に対処する養護・保育のスキルアップ講座	
5	子どもがいる家庭のための英語教育実践講座		13	案外知っているようで知らない「人」の話	
6	英語絵本の音読を楽しもう		14	文化資源探求講座	①松江ゴーストツアー
7	～続～子育て・孫育て世代のための子ども理解講座				②出雲の弥生遺跡を歩く
8	健康栄養講座：高齢者の食と健康		※ご記入頂いた情報は椿の道アカデミー以外では使用いたしません。		





島根県立大学短期大学部 松江キャンパス

〒690-0044 島根県松江市浜乃木7丁目24-2
TEL 0852-26-5525 (代表)
<http://matsuec.u-shimane.ac.jp>



島根県立大学
マスコットキャラクター
「オロリン」

しまね 地域共生 センター

*Shimane Center
for Enrichment through Community,
The University of Shimane
Junior College*

「しまね地域共生センター」は松江キャンパスを拠点とする、地域の「ともに支え合う学びのプラットフォーム」です。

平成 25 年度学生表彰

「島根県立大学賞」の授与について

1 趣 旨

島根県立大学賞は、学術、芸術、スポーツ、文化活動及び社会活動において他の学生の模範となる活動を行い、又は優秀な成果を挙げた島根県立大学の学生（個人又は団体）に対して、表彰するものである。

なお、この島根県立大学賞には、次の5部門を設けている。

- (1) 学術部門 (2) 芸術部門 (3) スポーツ部門 (4) 文化活動部門 (5) 社会活動部門

2 平成 25 年度受賞者一覧

【個人】

	氏名	部門
浜田キャンパス	坂口結花、相澤美里	文化活動、社会活動
	李丹丹	社会活動
	韓驍	社会活動
松江キャンパス	大野 光季	社会活動

【団体】

	団体名	部門
浜田キャンパス	情熱人 (ガチんちゅ)	文化活動
	SCOT	社会活動
松江キャンパス	TEAS	文化活動
出雲キャンパス	在宅ボランティアサークル	社会活動

3 受賞理由

平成 25 年度浜田キャンパス受賞者 (個人：4名、団体：2団体)

(1)

受賞者	3 年生 坂口結花 3 年生 相澤美里
部門	文化活動、社会活動
理由	<p>坂口結花、相澤美里は、浜田の魚を実際に捌く料理教室の実施、浜田の魚を活用したメニュー開発、同メニューのBB大鍋フェスティバルでの販売といった「おさかな教育」というカリキュラムを島根おさかなセンターで実施することで、小学生への魚食教育及びふるさと教育と、「浜田=魚の街」のイメージ定着と情報発信を実現する「さかなのがっこう」というビジネスプランを考案した。</p> <p>そしてこのプランをはまだ産業振興機構主催で実施された島根県立大学産業コンテスト「MAKE DREAM 2012」において発表し、最優秀賞を受賞した。</p> <p>その後、プランの実現に向けて県立大学生有志によって「さかなの学校実行委員会」を組織し、浜田市、浜田産業振興機構、地元水産加工会社等と連携し、「さかなのがっこう」の企画、運営を行う中心人物として活躍した。</p> <p>これらの取り組みは、新聞やテレビなどで複数回にわたって取り上げられ、浜田市、県立大学、しまねおさかなセンターなどの知名度向上にも大きく貢献した。</p>

(2)

受賞者	4年生 韓驍
部門	社会活動
理由	<p>韓驍は、中国語を学ぶ市民の団体である浜田中国語友の会において、中国の社会や文化について話をする、中国語の会話練習をするなどの活動を行った。</p> <p>また、島根県立大学留学生等を囲む会が石見の海に親しむ集いで留学生をまとめる役割を積極的に担い、留学生、一般学生と市民の皆さんとの交流に大きく貢献した。</p> <p>さらに、本学の国際交流の夕べにおいては2部のイベントに積極的に参加し、この会を大きく盛り上げた。</p> <p>「好好サークル」のリーダーとして日常的に留学生と一般学生の交流を進め、島根県立大学中国語暗唱コンテストにおいては司会や審査員を務めた。</p> <p>以上のように、交流県留学生の本分を自覚し、留学生と市民との交流に大きな貢献をした</p>

(3)

受賞者	北東アジア開発研究科博士前期課程2年生 李丹丹
部門	社会活動
理由	<p>李丹丹は中国語を学ぶ市民の団体である浜田中国語友の会において、これまで何度も犬塚教授の代理として講師を務め、中国語を教える、中国の文化についての話をするなどしている。また、留学生を囲む会が毎年6月に主催する石見の海に親しむ集いにおいては、留学生をまとめる役割を積極的に担い、留学生、一般学生と市民の皆さんとの交流に大きく貢献した。</p>

(4)

受賞者	情熱人 (ガチんちゅ)
部門	文化活動
理由	<p>本団体は、島根県立大学で様々な分野に挑戦してきた有志が集まって結成された。</p> <p>今年度、海外経験豊富な学生たちが自らの企画により、学内、学外の両方で自分たちの海外経験の発表展示を行うことにより、学生や地域の方々に海外へ出ることの素晴らしさを伝えた。</p> <p>10月に開催された海遊祭でのワークショップ「俺はまだ本気出してないだけ」で学術部門の優秀賞を受賞した。11月には国際政治学入門(赤坂教授)の授業で二週に亘ってプレゼンとワークショップを行っている。また、国際文化交流の夕べでの発表、高校訪問など積極的に行っている。</p> <p>これらの活動により、本学の学生たちに対して今後学生生活を行ううえで大きな目標を与えるだけでなく、本学の国際化の推進に大きな貢献をした。</p>

(5)

受賞者	SCOT
部門	社会活動
理由	<p>ボランティアサークルSCOTは2010年に創設され、4年間に亘って活動を積み上げてきた。</p> <p>活動内容は、中学生、小学生への学習支援とパトロール活動である。学習支援は浜田公民館や三隅公民館において小中学生を対象に行った。</p> <p>パトロールは大学周辺を週に一回行い、10月下旬はパトロール強化週間として回数を増やして行っている。</p> <p>また、浜田警察署と地域防犯に関する意見交換を行ったり、殺人事件の情報提供を依頼するビラ配りなども行っている。</p>

表彰式

日時：平成26年3月19日（水）

場所：浜田キャンパス講堂

平成25年度卒業式にあわせて実施する。

問い合わせ先

所属 島根県立大学浜田キャンパス教務学生課

担当：寺井、山本あや

電話：0855-24-2213 FAX：0855-23-7352

電子メール：kyoumu@admin.u-shimane.ac.jp

平成 25 年度出雲キャンパス受賞者 (団体 : 1 団体)

(1)

受賞者	在宅ボランティアサークル
部門	社会活動
理由	<p>在宅ボランティアサークルは、難病の療養者の家庭や入院中の病院を訪問して療養生活を支えるボランティア活動をしている。</p> <p>学生が直接療養者やその家族と訪問日程や活動内容を調整し、2～3名のグループで療養者の生活の場へ訪問する。1時間程度、療養者や家族と共に過ごすことで療養生活の質を高め、療養者やその家族に大変喜んでいただいている。また、訪問看護師やケアマネージャーなどと連携をすることで在宅療養を支えるチームの一員としてボランティア活動をしており、関係機関からも評価を受けている。</p> <p>この活動は、看護を学ぶ学生であるからこそできる社会貢献であり、学生の範として表彰するに値するものである。</p>

表彰式

日時：平成 26 年 3 月 13 日 (木)

場所：出雲キャンパス大会議室

問い合わせ先

所属 島根県立大学出雲キャンパス教務学生課

担当：三谷

電話：0853-20-0200 FAX：0853-20-0201

平成25年度松江キャンパス受賞者

(島根県立大学短期大学部学長賞) (個人:1名、団体:1団体)

(1)

受賞者	2年生 <small>おおの みつき</small> 大野 光季
部門	社会活動
理由	日本・韓国青年親善交流事業において、国内代表として韓国へ派遣され、韓国青年との交流、ホームステイをとおして、国際的な文化交流に貢献した。

(2)

受賞者	TEAS
部門	文化活動
理由	キラキラドリームプロジェクトにおいて「島根の産品を使用したオリジナルスムージーの開発」に取り組み、地域イベントへの参加をとおして大学PRに貢献した。

表彰式

日時：平成25年3月18日（火）

場所：島根県民会館 大ホール

平成25年度卒業式にあわせて実施する。

問い合わせ先

所属 島根県立大学短期大学部松江キャンパス教務学生課

担当：岡田

電話：0852-20-0216 FAX：0852-21-8150